

バジルを持ち帰り、植木鉢に入れ替えて、栄養を上げ、ベランダに置いたところ、1日で枯れ、回復しなかったことから、育て方のレポートを提出します。



バジルの育て方のポイントは「日当たりと風通しの良い場所で、水やりは土の表面が乾いたらたっぷり」と「肥料を適度に与える」ことです。バジルは乾燥に弱く、また、寒さにも弱いため、特に夏場の強い日差しと乾燥には注意し、冬場は10℃以上の環境を保つ必要があります

1. 置き場所と環境

日当たりと風通し：日当たりが良く、風通しの良い場所を好みます。日当たり不足だと徒長し、病害虫にもかかりやすくなります。

温度：温暖な気候を好むため、最低でも10℃以上の環境が必要です。寒さには非常に弱く、10℃を下回ると枯れてしまうため、冬場は室内など暖かい場所に移動させましょう。

鉢の選び方：水切れしにくい、少し大きめの鉢を選びましょう。

2. 水やり

乾燥に注意：バジルは乾燥に弱いので、水切れを起こさないように注意が必要です。

土の表面が乾いたら：鉢底から水が流れ出るくらいたっぷりと水を与えます。

水のやりすぎに注意：根腐れの原因になるため、土の乾き具合を確認して判断しましょう。

3. 肥料

こまめな追肥：

バジルは肥料を多く必要とするため、肥料切れを起こさないように注意が必要です。

肥料の種類と頻度：葉が10枚以上になったら、水やりのタイミングで液体肥料を1週間に1回与えるのが目安です。

4. 収穫と手入れ

摘心で脇芽を増やす：収穫を兼ねて、こまめに茎の先端を摘み取ります。

つぼみは摘む：バジルのつぼみが開花する前に摘み取ることで、栄養が葉に集中し、葉の風味が保たれます。

病害虫対策：風通しを良くすることで病気の予防になります。

感想：すぐ枯れてしまったので次の機会があれば枯らさずに料理に使いたいです。